

キャラクター名  
シェリリア・キーロ

プレイヤー名

種族	ウィークリング	種族特徴	弱点(水氷+3)、石化の視線、毒の血液		
生まれ	魔神使い	性別	女	年齢	17
冒険者Lv	15	経歴	自分にそっくりな人物を知っている		
経験点	13550		始まりの剣を求めている 人族を庇護対象と考えている		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	11	21		40 + 6	7	グラップラー	3	デーモンルーラー	15
体	8	敏捷度	7	21	-6	30 + 6	6	プリースト/ソルジャー	13		
		筋力	4	25		37 + 6	7	スカウト	3		
心	7	生命力	8	30		46 + 6	8	レンジャー	15		
		知力	9	27	3	46 + 7	8	エンハンサー	11		
		精神力	8	30		45 + 6	8	アルケミスト	5		

戦闘特技			
追加攻撃	220 p	ガーディアン	1-279p
投げ攻撃	225 p	魔法拡大/数	1-289p
ルーンマスター	1B34 p	防具の達人	3-213p
治癒適性	2122 p	ダブルキャスト	2-234p
不屈	2123 p	ターゲットィング	1-280p
ポーションマスター	2123 p		p
韋駄天	3142 p		p
縮地	3143 p		p
かばう	1-285p		p
防具習熟A/金属鎧	1-282p		p
防具習熟S/金属鎧	1-282p		p

言語			会話	読文
交易共通語			○	○
汎用蛮族語			○	○
魔神語			○	
魔動機文明語			○	○
魔法文明語				○

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ビートルスキン	ポイズンニードル	
キャッツアイ	アーマーラスト	
オウルビジョン		
マッスルベアー		
リカバリィ		
ストロングブラッド		
ケンタウロスレッグ		
スフィンクスノレッジ		
デーモンフィンガー		
トロールバイタル		
フェンリルバイト		
パークメイル		
ヒールスプレー		
パラライズミスト		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	3	10	9	10
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	マナタイト加工のインペリアル		33	-1	15
盾	マナタイト加工のエターナルロード		24		7
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能	デーモンルーラー	合計値	20		34

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
デモンズクロウ	1H	1		2d+ 22	12	22	20										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	41 m	123 m

回避	防護点
2d+ 20	34

HP
99

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	13	21			
召異魔法	15	23			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 9

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 23	2d+ 23

MP
137

装備品	説明
頭 魔神の徽章	
耳 数多の石人の耳飾り	防護点+1、敏捷度-6
顔 アイソアーマスク	遠隔攻撃を誘引
首 ポーションインジェクター	補助動作ポーション 普段はアンチマジック
背中 野伏のセービングマント	回避抵抗失敗時の魔法D-4
右手 聖印	神聖魔法時知力+2
腰 多機能真・ブラックベルト	
足 韋駄天ブーツ	
その他グリーンベルト	

装備品	説明
ラル=ヴェイネの金鎖	
スマルティエの風切り布	10s/3m 命中回避+2
左手 知力指輪	
アルケミーキット	
ウェポンホルダー改	

その他メモ	自動失敗 チェック
「例え世界を騙してでも、あなただけは、失いたくないから——」	□□□□⑤
シェリリア・キーロはその日、地獄を見た。 とあるバジリスクの元に、二人の子供が産まれ落ちた。だが、死ななすは彼女を見放した。共に産まれた瓜二つの二人はしかし、魂の穢れという明確な差異を持っていたのだ。故に、穢れなき子供は生きる場所はそこになく、身体を汚して生きていく他になかった。 運命は突然に扉を叩く。それは剣の思召しか、或いは女神の悪戯か。バルティニアという国は存外、清らかなる者の生きる場所もあつた。己を見つけ出したのは、そこにあって穢れを得た一人の少年であった。……この時、凄惨なる未来が来るだなんて、考えた者などいなかった。 果たして、幼き彼女を救い出した村は、救いの無きまま血に沈む。知性の有無すら定かならぬ、地の下の化け物によって。力なき者は立ち上がり、そして散った。あの人はどうやら、思っていた以上に大事にされていたらしい。動いてくれない我が身を呪い、何もできない今を悔やんだ。恩人を救えず、共に走ることも能わず、迫る今際を幻視したその時——	□□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕

